

書窓

Shoso

No.440

2022.1

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561
兵庫県揖保郡太子町鵜
1310 番地 7

Tel (079)277-1580
Fax(079)277-5684

子どもの本だな 98

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

しんせつなともだち

方 軼羣 作 君島 久子 訳
村山 知義 画 (福音館書店)

雪がたくさん降ってとても寒い日、食べ物をさがしに出かけたこうさぎは、かぶを2つ見つけました。ひとつを食べた後、「ろばさんはきつたべものがないでしょう」と、ろばの家にもうひとつを届けます。ろばは留守だったので、こうさぎはかぶをそっと置いて帰りました。ろばがさつまいもを見つけて家に帰ってくると、かぶが置いてあります。ろばはさつまいもを食べた後、かぶをこやぎの家に届けます。こやぎはこじかに届け、こじかは…。

かぶは次々と友達を思いやって届けられ、最後にこうさぎのところに戻ってきます。幼い子どもの好きな繰り返しがうまく使われ、ほのぼのとあたたかい気持ちになるお話です。素材で落ち着いた色の絵も、お話にぴったりです。読んでもらえば2歳くらいから楽しめるでしょう。

(池田)



寺町三丁目十一番地

渡辺 茂男 作 太田 大八 画 (福音館書店)

福地写真館に住む福地家は、父の福つつあんと母のしげ、男6人女3人の子ども、父の助手、女中の総勢13人の大家族です。おやつは焼き芋は26個、ご飯は大釜で炊き、朝晩の便所と洗面時には行列がで、子供たちが寝る時は、1階に布団を敷き詰め修学旅行のように寝ます。

ある日の真夜中、うっかり鍵を閉め忘れた家に泥棒が入りました。泥棒が真っ暗な部屋で懐中電灯をつけると、1人、2人、3人、4人、5人…累々と転がる人間の数！驚いた泥棒は慌てて逃げようとして誰かを踏みつけ転がって、子どもたちが次々に起きだしました。布団の真ん中で「助けてくれ！」と頭を下にすりつけている泥棒に子どもたちは大騒ぎ。そこへ福つつあんが木刀を手に2階から駆け降りてきました…。(「どろぼうさわぎ」)

昭和10年ごろの静岡を舞台に、頑固で子煩悩な父、福つつあんと個性豊かな子どもたちの日々が生き生きと描かれています。大家族の1年をユーモラスに綴った、著者の自伝的物語。10歳くらいから大人まで楽しめます。

(池之上)

1月	2月	1・2月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
13日	3日	塚森 地域内 10:30~ 10:50	沖代 地域内 11:00~ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50
20日	10日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20
27日	17日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50	吉福 公民館 16:00~ 16:20

お知らせ

毎週土曜日に
「おはなしの時間」
を開いています。

- ・4歳～小学2年生
11:00～11:30
- ・小学3年生～中学3年生
11:30～12:00

1月のおはなしは、
「ゆきんこ」「パンドラ」
「鬼のカーランコ」などを
予定しています。詳しくは
プログラムをご覧ください。

『パッケージツアーの文化誌』 吉田 春生 著

草思社 293頁 2021年6月刊 2,200円 (請求記号)689.2

日本の旅行業界はコロナウイルスにより大きな打撃を受けた。大手旅行会社がパッケージツアー・ブランドの販売を停止するなど、その影響は深刻である。本書は旅行会社に約20年間勤務した著者が、パッケージツアーの成り立ちや変遷を詳しく紹介し、コロナ後の旅行業界を考察したものである。

パッケージツアーの誕生は、1965年にまでさかのぼる。海外渡航が自由にできるようになり、日本航空は日本初のパッケージツアー「ジャルパック」を生み出す。これは、言葉や面倒な手続きを気にせず、気軽に楽しめる海外旅行を商品としたものである。日本航空が企画や宣伝、旅行会社が販売や添乗員の派遣を行っていたため、品質にばらつきが出るなど問題があった。この状況を解消するために、業務を一括で行う新しい会社を設立する「トラベル・エア」構想が打ち出されるが、要となる日本交通公社（JTBの前身）の不参加により実現しなかった。しかし、1968年にパッケージツアー「ルック」が誕生し、旅行会社が業務を一括する仕組みが生まれる。

「ルック」の発表から現在に至るまで様々なパッケージツアーが企画されてきた。中には非常に高額なものも販売され、「1つの島を1組のゲストで独占する究極の贅沢」と銘打ったこの旅行は、1人当たりの料金は398万円にもなり、プライベートジェットなどのサービスを利用すると3000万円もの追加代金がかかった。

こうして、商品としての旅はサービスを洗練させながら現代まで続いてきたが、コロナウイルスによって旅行業界全体が苦境に立たされている。それでも、「Go to トラベル」を先陣として、業界復活に向けた様々な事業が模索されている。さらに著者は、消費者も販売側も信頼できる旅行商品としてパッケージツアーが有意義であると考えている。

人々の生活がコロナによって大きく変化し、旅行商品もコロナを前提とした新しいサービスが求められている。しかし、安心と安全、効率性と便宜性を提供するという旅行商品の原則は、これからも変わらないものだと感じた。

(光藤)

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
						X
X	X	X	5	6	7	8
9	10	X	X	13	14	15
16	17	X	19	20	21	22
23	24	X	26	27	28	29
30	X					

2月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		X	2	3	4	5
6	7	X	9	10	11	12
13	X	X	16	17	18	19
20	21	X	23	X	25	26
27	X					

▶ X印は休館日

12/28~1/4 は年末年始
1/12、2/14、2/24 は祝日の振替
1/31、2/28 は館内整理日

※閉館時は返却ポストへ返却してください。

▶開館時間は 10:00~18:00
金曜日は 20:00 まで開館



地下水

利用者のFさん、Aさんにたくさんの消しゴムハンコを借りて子どもたちとカード作りをした。どれを押そうか、どんなレイアウトにしようかと、さんざん悩む子がいる一方、たくさんのハンコが嬉しくてカードの表裏にぎゅっしり押していく子、お城のハンコばかり押す子、色鮮やかなクリスマスカードに仕上げる子、カードもしおりのようにリボンをつけたという子、はたまた、ためし押しに用意した大きな紙にばかり押ししていく子と、子ども達の行動に驚かされる時間だった。子どもたちの自由な発想に付き合ううち、幼い頃、真新しい襖にクレヨンで大きな絵を描いたことを思い出した。とても楽しくて、うれしかった思いがフツフツと蘇ってきた。その時の親の反応はどうだったかと考えるうちに『大きな森の小さな家』を読んだとき、ローラと同じように父親に追われる遊びをしてハラハラドキドキを思いっきり楽しんだことを思い出した。

リリアン・スミス著『児童文学論』の原題は THE UNRELIANT YEARS (心のびやかな時代)。子どもの持つ何ものにもとらわれないエネルギーにふれ、これからも心が豊かになるような時間をたっぷり用意したいとあらためて思った。

(西村)